

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容。

総合的な学習の時間を以下のとおり実施した。

	＜共通ガイダンス＞ 全学年：1時間		
	＜志＞ 1学年：8時間 2学年：32時間 3学年：28時間	＜防災＞ 1学年：11時間 2学年：7時間 3学年：11時間	＜文化＞ 1学年：30時間 2学年：30時間 3学年：30時間
1学年：50時間	地域交流活動：5時間	救命救急講習：4時間 (1・3年のみ) 総合防災訓練：6時間 防災講話：1時間	縦割りコース別学習：30時間 ・郷土芸能(太鼓) ・演劇 ・防災 ・創造①(モザイクアート) ・創造②(面瀬の環境)
2学年：70時間	職場体験：18時間 志を立てる：9時間 修学旅行：5時間 (職場体験)		
3学年：70時間	職場体験：14時間 小学校との交流：9時間 志を立てる：5時間		

また、6月と11月にNEO(総合型地域スポーツクラブ)と「面瀬ふれあい交流」を実施した。

【地域との連携・協働】

① 地域の教育資源を積極的に活用することで、地域との結びつきを大切にし、他と協調しながら共に生きようとする力を育むことをねらいとした活動。

◇職場体験

地域の職場(飲食店、菓子店等)で、2日間の体験活動を行った。事業所の方と交流しながら様々な体験を行い、自分の将来についてのじっくりと考えることができた。



◇小学校との交流

小学生と人間関係づくりを主眼に、異年齢交流を行った。さまざまな遊び道具を自分たちで作り、小学生と楽しく交流活動を行った。



◇郷土芸能(打囃子)

地域に伝わる伝統芸能である打囃子の伝承と、郷土のよさを知ることを目的に練習に取り組み、文化祭で発表した。



◇面瀬ふれあい交流

NEO（総合型地域スポーツクラブ）との交流活動で、ニュースポーツを体験した。ペタンクやカローリングなど、様々なニュースポーツに触れながら交流を図った。



- ② 危機管理課や防災センターと連携しながら訓練にあたりると共に、地域や小学校との合同防災訓練を実施することで、災害のための日常的な備えと自他の安全を確保するための行動力を養うことをねらいとした活動。

◇避難訓練（年8回実施）

現実的に起こりそうな様々な想定（地震、津波、火災、不審者等）のもと、避難訓練を実施した。



◇救命救急講習

消防署の救命救急士の方から、心肺蘇生法やAEDの使用等について教えていただいた。



◇総合防災訓練

小学生と一緒に、地区の自治会長の協力をいただきながら、防災訓練を実施した。避難所想定訓練や防災マップ作りにも取り組んだ。



◇防災講話

消防署の方から、災害についての講話をいただいた。

◇防災学習

学んできたことをもとに、災害の仕組みについて整理したり、災害時に役立つグッズを作成したりして、文化祭で発表した。



- ③ 環境学習

◇面瀬の生活と環境

今年度は文化祭での発表を目標に地域の環境学習に取り組んだ。総合的な学習の時間で川の水を採取して成分を調べるとともに、川に落ちているゴミの種類について調査し、結果を発表した。



(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）